

14 環 境

(1) 自然

庄内地域には、出羽三山に代表される磐梯朝日国立公園や飛島を含めた鳥海国立公園、白砂青松の庄内海浜県立自然公園があり、これらの自然公園の面積は当地域の22.0%を占めている。また、イヌワシの生息や渡り鳥の集団飛来地など国指定の鳥獣保護区のほか、天然ブナ林や海岸の松林、常緑のタブ林など動植物の多様性にも恵まれた地域である。

【図24】自然公園等位置図



【表73】自然公園面積（令和6年3月31日現在）

区 分	区域面積 (ha)	自然公園 (ha)				割合 (%)
		国立公園	国定公園	県立公園	計	
庄内地域	240,528	33,140	13,553	6,267	52,960	22.0
山形県	932,315	71,116	42,255	42,139	155,510	16.7
全 国	37,797,539	2,444,364	1,391,216	1,915,027	5,750,607	15.2

【表74】ガンカモ科鳥類生息調査結果（各年度1月実施）

（単位：羽）

年 度		ハクチョウ類	ガ ン 類	カ モ 類	合 計
令和3年度	庄 内	9,700	1,601	18,225	29,526
	山形県	10,479	1,653	24,796	36,928
	全 国	75,995	214,980	1,504,611	1,795,586
令和4年度	庄 内	7,762	731	34,047	42,540
	山形県	8,181	731	36,153	45,065
	全 国	77,153	310,718	1,585,166	1,973,037
令和5年度	庄 内	8,312	695	21,749	30,756
	山形県	9,274	895	61,187	71,356
	全 国	73,465	262,482	1,621,200	1,957,147

資料：環境省、環境エネルギー部みどり自然課調べ

(2) 大気・水環境

庄内地域の大気環境については、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質は全局で環境基準を達成した。広域的な大気汚染である光化学オキシダントは環境基準を超過したが、注意報発令基準未満であった。平成 24 年度から測定を開始した微小粒子状物質（PM_{2.5}）は、全局で環境基準を達成した。

水環境についても、河川・海域とも、全水域で環境基準で達成した。

下水道や浄化槽等の生活排水処理施設の普及率は 97.5%であり、県平均を上回っている。

【表 7 5】大気汚染の状況

(○：環境基準を達成、×：環境基準を達成していない)

測定項目	測定局	令和3年度 測定値	達成 状況	令和4年度 測定値	達成 状況	令和5年度 測定値	達成 状況	環境基準
二酸化硫黄 (ppm)	酒田若浜	0.001	○	0.001	○	0.001	○	0.04 以下
	余目	0.001	○	0.001	○	0.001	○	
	鶴岡錦町	0.001	○	0.001	○	0.001	○	
二酸化窒素 (ppm)	酒田若浜	0.008	○	0.007	○	0.006	○	0.06 以下
	余目	0.008	○	0.005	○	0.005	○	
	鶴岡錦町	0.011	○	0.011	○	0.007	○	
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	酒田若浜	0.019	○	0.020	○	0.028	○	0.10 以下
	余目	0.018	○	0.020	○	0.025	○	
	鶴岡錦町	0.019	○	0.019	○	0.024	○	
光化学オキシダント (ppm)	酒田若浜	0.092	×	0.090	×	0.090	×	0.06 以下
	鶴岡錦町	0.080	×	0.088	×	0.097	×	

測定項目	測定局	令和4年度			令和5年度			環境基準
		測定値		達成状況	測定値		達成状況	
		1年平均値	1日平均値		1年平均値	1日平均値		
微小粒子状物質 (PM2.5) (μg/m3)	酒田若浜	8.2	18.8	○	8.2	20.4	○	1年平均値 15以下
	余目	7.1	17.3	○	6.6	18.4	○	かつ
	鶴岡錦町	7.5	19.0	○	7.0	18.7	○	1日平均値 35以下

※二酸化硫黄、浮遊粒子状物質は、日平均値の2%除外値 二酸化窒素は、日平均値の98%値 光化学オキシダントは、昼間の1時間値の最高値。微小粒子状物質（PM_{2.5}）の1日平均値は、1日平均値の年間98パーセンタイル値

資料：環境エネルギー部水大気環境課「令和4年度山形県の大気・水環境等の状況」

【表 7 6】公共用水域の水質汚濁の状況（河川 — BOD）

（単位：mg/l）

水系	環境基準 類型指定水域名	環境基準地点 （所在地）	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		環境 基準
			測定値	達成 状況	測定値	達成 状況	測定値	達成 状況	
最上川	最上川中・下流	両羽橋（酒田市落野目）	0.9	○	0.7	○	0.9	○	A(2 以下)
最上川水系	立谷沢川（全域）	東雲橋（庄内町清川）	0.5	○	<0.5	○	0.5	○	A(2 以下)
	相沢川（全域）	宝永橋（酒田市相沢）	0.6	○	0.9	○	0.7	○	A(2 以下)
	藤島川（全域）	昭和橋（酒田市広野）	0.8	○	1.0	○	1.2	○	A(2 以下)
	京田川（全域）	亀井橋（酒田市広野）	1.0	○	1.1	○	1.6	○	A(2 以下)
赤川水系	梵字川（全域）	立岩橋（鶴岡市下名川）	<0.5	○	0.6	○	0.5	○	A(2 以下)
	赤川（全域）	東橋（鶴岡市東岩本）	0.7	○	0.5	○	0.5	○	A(2 以下)
		蛾眉橋（三川町横山）	0.6	○	0.7	○	0.8	○	
		新川橋（酒田市浜中）	1.1	○	0.8	○	1.1	○	
	内川（全域）	西三川橋（鶴岡市大宝寺町）	1.0	○	1.0	○	1.0	○	B(3 以下)
	青竜寺川（全域）	青山橋（三川町青山）	0.8	○	1.0	○	1.0	○	A(2 以下)
	大山川（全域）	観山橋（鶴岡市面野山）	1.4	○	1.2	○	1.4	○	B(3 以下)
その他の水系	月光川（全域）	菅里橋（遊佐町菅里）	0.7	○	0.8	○	0.7	○	A(2 以下)
	洗沢川（全域）	吹浦橋（遊佐町吹浦）	0.6	○	0.8	○	0.5	○	A(2 以下)
	荒瀬川（全域）	八幡橋（酒田市市条）	<0.5	○	0.5	○	<0.5	○	A(2 以下)
	日向川（全域）	日向橋（酒田市穂積）	0.5	○	<0.5	○	0.5	○	A(2 以下)
	新井田川（全域）	浜田橋（酒田市新井田町）	1.7	○	1.3	○	1.6	○	B(3 以下)
	五十川（全域）	古四王橋（鶴岡市五十川）	0.5	○	0.8	○	0.5	○	A(2 以下)
	豊川（全域）	豊橋（酒田市豊里）	0.7	○	1.0	○	1.1	○	A(2 以下)
	温海川（全域）	温海橋（鶴岡市温海）	0.5	○	0.8	○	0.7	○	A(2 以下)
	庄内小国川（全域）	岩川橋（鶴岡市岩川）	<0.5	○	0.6	○	<0.5	○	A(2 以下)
	鼠ヶ関川（全域）	蓬莱橋（鶴岡市鼠ヶ関）	<0.5	○	0.6	○	<0.5	○	A(2 以下)

※BOD：水中の汚染物がバクテリアによって分解されるときに必要な酸素の量をいい、河川の汚染状態を表す指標。

資料：環境エネルギー部水大気環境課「令和 4 年度山形県の大気・水環境等の状況」

【表 7 7】公共用水域の水質汚濁の状況（海域 — COD）

（単位：mg/l）

環境基準 類型指定水域名	環境基準地点	令和3年度		令和4年度		令和5年度		環境 基準
		測定値	達成 状況	測定値	達成 状況	測定値	達成 状況	
酒田港（第1区域）	No. 6	2.3	○	2.0	○	2.2	○	B(3以下)
酒田港（第2区域）	No. 5	2.7	○	1.8	○	2.3	○	B(3以下)
酒田港（第3区域）	No. 2	2.9	○	2.6	○	2.5	○	B(3以下)
酒田港（第4区域）	No. 7	2.3	○	1.8	○	2.0	○	B(3以下)
	No. 9	2.1		1.8		2.0		
酒田港（第5区域）	No. 11	2.1	○	2.1	○	1.9	○	B(3以下)

※COD：水中の汚染物が酸化剤によって分解されるときに必要な酸素の量をいい、湖沼及び海域の汚染状態を表す指標。

資料：環境エネルギー部水大気環境課「令和4年度山形県の大気・水環境等の状況」

【表 7 8】生活排水処理施設の整備状況

（単位：％）

市町村名	令和3年度末				令和4年度末				令和5年度末			
	生活排水処理施設普及率				生活排水処理施設普及率				生活排水処理施設普及率			
	合計	公共下水道	農業集落 排水等	合併浄化槽	合計	公共下水道	農業集落 排水等	合併浄化槽	合計	公共下水道	農業集落 排水等	合併浄化槽
鶴岡市	95.7	79.8	13.2	2.6	96.3	80.6	13.1	2.6	96.8	81.3	13.0	2.4
酒田市	98.6	79.8	15.3	3.5	98.6	80.1	15.1	3.4	98.7	80.3	15.0	3.4
三川町	100.0	65.0	34.4	0.7	100.0	65.3	34.1	0.6	100.0	65.3	34.1	0.6
庄内町	99.5	78.4	19.5	1.6	99.5	78.8	19.1	1.6	99.5	79.1	18.9	1.5
遊佐町	95.8	80.8	11.0	4.1	96.1	81.3	10.9	3.9	96.1	81.2	10.9	4.0
庄内管内	97.2	79.4	14.9	2.9	97.5	79.9	14.8	2.9	97.8	80.3	14.7	2.8
山形県	93.9	78.4	6.9	8.6	94.2	78.8	6.8	8.6	94.5	79.3	6.7	8.5

※生活排水処理施設普及率（％）＝ $\frac{\text{下水道・農業集落排水施設等を利用できる利用人口} + \text{合併浄化槽を利用している人口}}{\text{行政人口（住民基本台帳人口）}}$

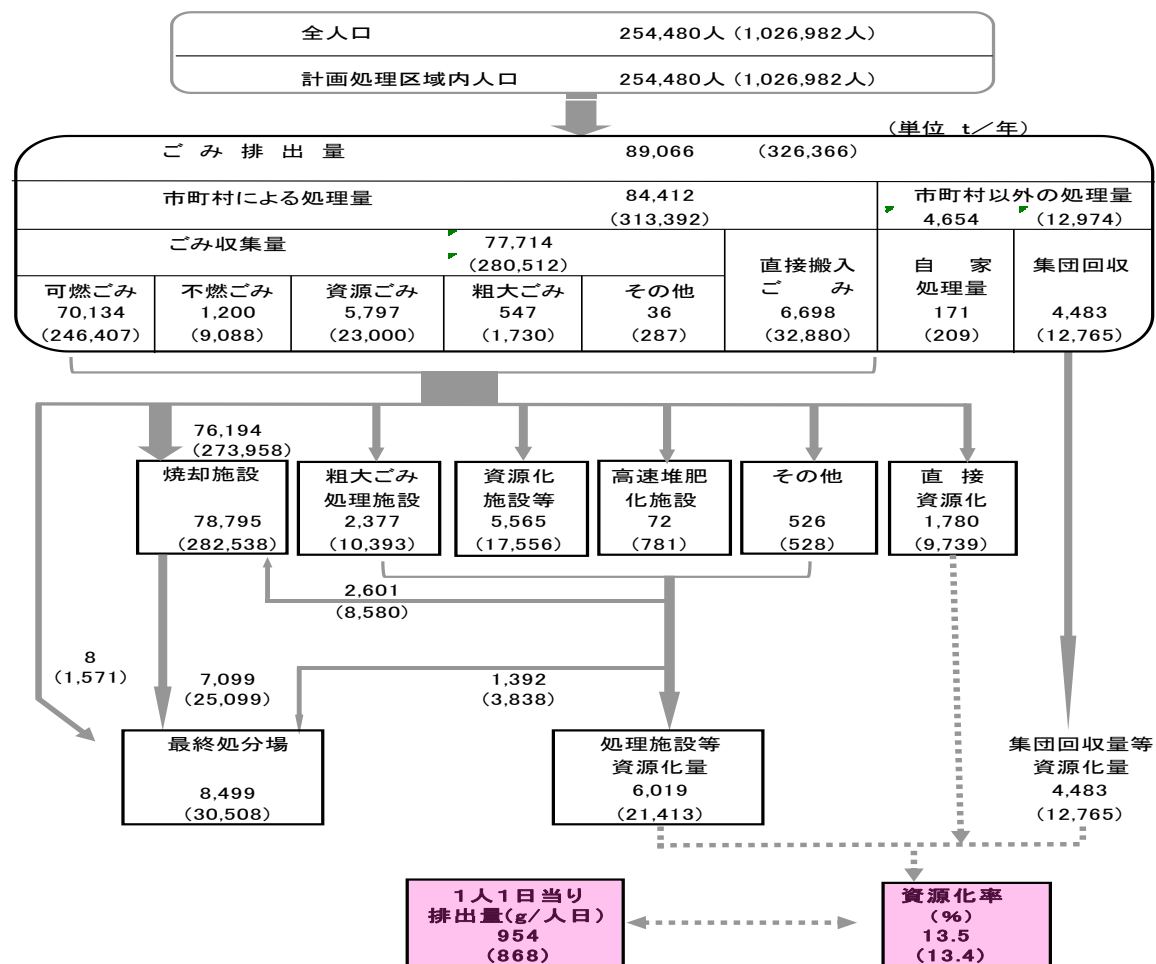
資料：環境エネルギー部水大気環境課「山形県における生活排水処理施設の普及状況について」

（３）廃棄物・リサイクル

庄内地域の一般廃棄物の年間発生量は約８万９千トンで、うち約８千トンが最終処分場に埋め立てられ、約１万２千トンが資源化され、資源化率は１３.５％となっている。産業廃棄物については、管内における中間・最終処理量は約４４万トンとなっている。

海岸漂着物については、沿岸２市１町と連携した回収処理に加え、自治会や NPO・民間ボランティアによる海岸清掃活動も活発に行われている。

【図２５】庄内地域のごみ（一般廃棄物）処理系統図（令和５年度）



※1 （ ）は県全体の量

※2 1人1日当り排出量 = (市町村による処理量+集団回収量) ÷ 全人口 ÷ 365 × 1,000,000 (g/人日)

※3 資源化率 = 資源化量(直接+施設+集団回収) ÷ (市町村による処理量+集団回収) × 100 (%)

資料：環境エネルギー部循環型社会推進課「令和６年度版山形県循環型社会白書」

【表７９】一般廃棄物の処理状況の推移

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
市町村で処理するごみの排出量 (t/年)	庄内	92,288	90,795	89,917	84,412
	山形県	338,279	334,166	332,098	313,392
1人1日当り排出量 (g/人日)	庄内	949	1,002	1,004	954
	山形県	901	904	909	868
資源化率 (%)	庄内	13.7	13.8	13.7	13.5
	山形県	13.3	13.7	13.6	13.4

資料：環境エネルギー部循環型社会推進課「令和６年度版山形県循環型社会白書」

【表 8 0】庄内地域の産業廃棄物処理施設設置・処理状況（令和 5 年度）

令和 7 年 3 月 31 日現在

施設の種類		排出事業者		処理業者				計		
		許 可 施設数	処理実績 (t)	許 可 施設数	規 模 未 満 施設数	計	処理実績 (t)	許 可 施設数	全施設数	処理実績 (t)
汚泥	脱水等	4	9,494	5		5	3,183	9	9	12,677
廃油	油水分離等	1	33,260	2		2	2,582	3	3	35,842
廃プラスチック類	破碎・焼却等	0		11	18	29	7,747	11	29	7,747
紙くず・木くず等	焼却	0		0						
木くず	破碎等	1	0	8		8	18,008	9	9	18,008
がれき類	破碎等	3	926	25		25	224,656	28	28	225,582
その他					78	78	144,300		78	144,300
中間処理計		9	43,680	51	96	147	400,476	60	156	444,156
管理型最終処分場		1	-3,323					1	1	-3,323
合 計		10	40,357	51	96	147	400,476	61	157	440,833

※1 排出事業者許可施設数：排出事業者が設置する産業廃棄物処理施設（15条施設）のうち処理実績のある施設数
 処理業者許可施設数：産業廃棄物処理業者が設置する産業廃棄物処理施設（15条施設）のうち処理実績のある施設数
 処理業者規模未満施設数：産業廃棄物処理業者が設置する産業廃棄物の処理施設（15条施設に該当しない施設）のうち処理実績のある施設数

※2 処理実績は、各区分の主な対象物以外の実績も含み、施設全体の処理実績を表す。

※3 処理業者の実績には、委託を受けて処理した産業廃棄物の他に、自社の排出した産業廃棄物の処理実績も含む。

※4 管理型最終処分場の処分量が負値であるのは、資源化のための搬出量が搬入量を上回ったため。

資料：「令和 5 年度産業廃棄物に係る実績報告取りまとめ」庄内総合支庁環境課集計

【表 8 1】不法投棄の状況

	令和 3 年度				令和 4 年度			令和 5 年度			令和 6 年度		
	前年度 末件数	新規発 見件数	改善 件数	年度末 件 数	新規発 見件数	改善 件数	年度末 件 数	新規発 見件数	改善 件数	年度末 件 数	新規発 見件数	改善 件数	年度末 件 数
庄内地域	4	2	2	4	1	0	5	0	1	4	0	1	3
山形県内	10	3	6	7	1	2	6	1	1	6	0	1	5

※ 30 ㎡以上のもの。改善には自然同化を含む。

資料：一般社団法人山形県産業資源循環協会廃棄物不法投棄防止専門部会資料

（４）再生可能エネルギー

庄内地域では、太陽光発電、風力発電、バイオマス発電が他地域に比べ、多く導入されている。特に、風力発電は県全体の多くを占めている。

一方、小水力発電の導入は他地域に比べると少ない状況となっている。

【表 8 2】再生可能エネルギーの導入状況（令和 6 年 9 月末現在）

（単位：kW）

種 別		庄 内	山 形 県
太陽光発電	10kw 未満	20,110	92,111
	10kw 以上	96,062	284,319
風力発電		113,651	121,063
水力発電		3,080	66,679
バイオマス発電		54,297	79,937

資料：経済産業省 資源エネルギー庁 調べ「エリア別の認定及び導入量」

【図26】庄内地域における再生可能エネルギー施設（主なもの）（令和7年3月末現在）

